

ぬかづけ 日記 連載②



白糠町のPRのことばかり考えるわたし
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ
北田 純子



Profile

1973年11月23日生まれ。
千葉県千葉市出身
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



町民の皆さんにお願い

来年3月末の任期終了後、白糠の海が見える所でお店を開きたいと思っており、オーシャンビューの中古物件を探している最中です。心当たりのある方がいらしたら、ぜひ北田までお声がけいただけますと幸いです。ご連絡先：☎2-2171 役場商工係(内線244・246)

町外の白糠町ファンを増やしたい理由

「町外に住む白糠町ファンが増えるかどうか？」という疑問。私はさまざまにプラス効果があると考えていますが、その一つに経済効果があります。町外に住む白糠町ファン＝関係人口が増えれば、ふるさと納税の寄付額増加、町民への還元(例：福祉の充実)というプラス効果が働くこともあり、観光消費額増加、町内事業者の売り上げ増加、町の税収増加、町民への還元という形にもなります。

しかし、関係人口を増やしたいのは他の自治体も同じです。ではどうしたら、多くの自治体の中から白糠町を選んでもらえるのか。

私は「白糠町を深く愛してもらいたい」ことが重要だと考えています。そもそも関係人口とは何か。私は「楽しくて(好きで)何度も来ちゃう(買っちゃう)リピーター」「この地に忘れられない思い出がある」「白糠町のアレコレをつい周りの人にも勧める人」というように、町外に住みつつ本町に対して強い思い入れを持つ人を関係人口と捉えています。

では、まっさらな人がどうしたら白糠町を深く愛するようになるのか。そのカギを握るのが、情報発信なのです。

私はこれまでの経験を生かして、町の公式SNS運営やブログを運営しているの、これを例にご紹介します。フェイスブックやブログで町の情報をただそのまま投稿するだけでは、フォロワーさんには進化したと考えると、関係人口には進化しないと考えています。重要なのは、皆さんにとっては当たり前だけど、外から見たら素晴らしいこと。つまり、白糠町らしさ・白糠ならではの魅力をしっかりと伝えることなのです。

そのため、取材前に構成案を考え、リサーチし、取材の際は誰に何を聞きどんな写真を撮るか考え、分かりやすいテキストにまとめ、投稿・記事を作成します。もちろん「読んで新たな知識を得た」「おもしろかった」「見て心が晴れた」など、フォロワーさんの心をひきつける要素も必要です。投稿もまめに、SNSやブログのコメントへの返信、お問い合わせの対応、ある時はこちらから直接メールを送ったり、SNS広告を活用してフォロワーさんとの接点を増やしたり、心理学という単純接触効果を活用します。ひたすら地道な積み重ねです。しかしこうすることで、フォロワーさんはより深く、強く白糠町を愛するようになります。他の選択肢ではなく、白糠町を選んでくれるようになります。そのために必要なのが、重ねてになりますが、皆さんにとっては日常のことでも、外から見たら非常に素晴らしいこと。これこそが、フォロワーさんたちの心をひきつける要素なのです。なので、皆さんの『当たり前』を、どんどん私に教えていただきたいのです。